

2022年11月

学校法人 東放学園  
専門学校東京アナウンス学院殿

## 2022年度 学校関係者評価報告書

専門学校東京アナウンス学院  
学校関係者評価委員会

### 1. 学校関係者評価委員

【関連業界】

山崎 譲 株式会社円企画相談役

【卒業生】

増田 ゆき 株式会社マウスプロモーション

【高校教員】

早川 信一 昭和第一高等学校 教諭

【地域住民】

横倉 正志 一般社団法人社会資源再生機構理事長

【保護者】

和田 しのぶ 放送声優科1年生保護者 ※委員会欠席

### 2. 事務局

船場 吉行 専門学校東京アナウンス学院 校長

川田 泰弘 専門学校東京アナウンス学院 教務教育部長

大橋 真由美 専門学校東京アナウンス学院 学務管理部長

上野 浩一郎 専門学校東京アナウンス学院 学校評価委員

### 3. 学校関係者評価委員会の開催状況

2022年11月28日(月)17:00～19:15

専門学校東京アナウンス学院新宿研究所4階 403教室

### 4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

## 学校関係者評価結果

### 【評定の内容】

- 4:適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。  
 3:ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。  
 2:対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。  
 1:全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

### I. 2021年度重点目標について

#### 重点目標1.教職員資質向上

コメント	評定
本要件は、コロナ禍における教育現場にとって特に課題となっている。これに取り組む姿勢は評価できる。	4

#### 重点目標2.カリキュラム最適化

コメント	評定
教務教育部長と各学科主任とが情報を共有し、認識を統一してカリキュラム改革に取り組む姿勢が見られる。	4

#### 重点目標3.ICT活用促進

コメント	評定
授業以外の日常業務にもICTが取り込まれており、教職員のスキルアップが図られている。	4

#### 重点目標4.中途退学率低減

コメント	評定
コロナ禍における学生の心理状態や就学状況に留意し、一人一人にきめ細かい対応をしようとする意識が高い。	4

#### 重点目標5.進路決定率向上

コメント	評定
進路決定率の向上は専門学校の使命と認識し、継続して重点的に取り組んでいる。コロナ禍で一時低下した決定率も回復傾向にある。	4

#### 重点目標6.コロナ禍における望ましい授業形態の模索

コメント	評定
コロナ禍における有効な授業形態の一つにオンライン授業が考えられるが、その利点と課題を適切に把握している。それを踏まえて、さらに良い形式にできるよう、継続して模索する体制にある。	4

### II. 評価項目別取組状況について

#### 基準1 教育理念・目的・育成人材像

コメント	評定
学園の理念とそれに基づく教育方針を教育活動の根幹としており、教育に対する姿勢が一貫している。また、挨拶を徹底する教育の効果が現れている。	4

#### 基準2 学校運営

コメント	評定
学園の理念に沿って、組織的に堅実に運営に取り組むという方針が一貫している。	4

#### 基準3 教育活動

コメント	総合評価
成績評価基準の統一等、課題の把握はできているが、改善にはいたっておらず、模索段階にあると言える。本来、芸能関係の技能を評価すること自体が難しいのだが、基本を重視する姿勢は常に維持するべきである。	3

#### 基準4 学修成果

コメント	総合評価
授業、学園行事、進路関連等、学生への情報発信は多岐にわたり行われている。また資格については一部対策授業が実施されている。学生の進路は多様化しており、特に留学生に関しては、さらなる新規分野の進路開拓も望まれる。	3

## 基準5 学生支援

コメント	総合評価
学生一人一人に寄り添う体制が構築され、学生が相談しやすい環境を整えている。全体的に手厚い支援が行われていると言える。特に留学生に対する対応には改善がみられる。	4

## 基準6 教育環境

コメント	総合評価
学校の機材・設備は計画的に更新されており、教育上の環境は十分整備されている。ただし、コロナ禍の授業における学生の満足度に問題があったという認識をしており、有事の際の授業運営についての決定的な解決策をまだ見いだせていない状況である。	3

## 基準7 学生の募集と受入れ

コメント	総合評価
入学希望者や高等学校等に対し、LINEやオンラインでの対応も含め、十分な情報提供や相談対応が行われている。募集活動は積極的かつ時期等は適切に行われていると評価でき、入学者は規程に則って適正に選考していると認められる。さらに幅広く募集活動を進めようとする姿勢がある。	4

## 基準8 財務

コメント	総合評価
借入金、長期未払金ではなく、予算と決算の大きな乖離もないことから、適正な財産管理のもとで、健全な財務状況にあると考えられる。収入を増やすことより、まず教育を充実することに注力する意識がある。また、収支については、法人のホームページ上で公開されている。	4

## 基準9 法令等の遵守

コメント	総合評価
全体的にコンプライアンス意識には高いものがあり、丁寧に対応していると考えられる。学内外への情報公開も適切に行われている。	4

## 基準10 社会貢献・地域貢献

コメント	総合評価
ボランティア活動を通じて地域に貢献しており、さらに積極的に参加しようとする意識は見えるが、現段階では多くの学生が参加できていない。コロナ禍で活動に支障が出たこともあるが、継続的に一定以上の人数が参加できる体制作りが求められる。また、熱意を持った人材を発掘し、育成することも重要である。	3

## 5. 所感

2020年度、2021年度の本委員会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑みて対面方式での開催を見送り、郵送での評価・コメント提出により実施した。今年度は3年ぶりに対面方式での実施となった。

オンライン授業やボランティアについてなど、コロナ禍における教育現場の状況について貴重な意見・提案等があった。また「多様化」というキーワードが多く討議の中で聞かれ、留学生に代表される進路等の多様化も話題に上がった。その中で、やはり挨拶の大切さや、表現者にとっての基本の反復練習の重要性を再確認する機会にもなった。

尚、任期2年目の増田委員には、今回初めて対面式の委員会にご出席いただいた。同じく和田委員は体調を崩され、今回はご欠席となった。

以上